員と剪定の方法及び時期について協議をしたが、コンパクトに剪定することが景観上最善であるということから毎年剪定することが必要とのことである。また、時期についても、台風被害を抑制することや落ち葉によるスリップ防止等により総合的に判断している。

街路樹の果たす役割については、歩行者の日陰を作り、過ごしやすい場所の提供やCO_2削減の一翼を担っていると考えている。

企画部長　(2)まず水資源の現状を調査、分析して具体的な課題等の把握や検討を行い、より効果的な水資源の保全と利用について基本方針を定め、その中で浸透枡や貯留施設等についての実施について検討していきたい。

大村湾・海の科学館を設置しよう！ コンクリート護岸を石積み護岸にしてふれあいの場に！

大崎議員

(1)大村湾環境対策について

①豪雨により鈴田川から東部漁港海岸に流れ込んだ多量のゴミについて、今後の対策は。

また漁業者が処理作業に従事したが、日当は補償すべきではないか。また災害復旧として対応すべきではないか？

②大村湾の環境問題に県環境保健研究センターや大学及び市民が共通の理解を深め、想いを共有するような拠点施設として、仮称「大村湾・海の科学館」の必要性は大きいと思うが、どうか？また施設として森園公園にある「みどりのふれあい館」が現在あまり利用されていないので、そこを利用してはどうか？

③大村湾と人がふれあう場づくりについて、コンクリート護岸は市民と大村湾を隔絶している。空港玄関口である森園公園前の護岸を滑らかな石積み工法で海岸線を整備できないか？

(2)新環境基本計画について

第2次の計画を策定する時期を迎えているが、現計画の検証と地球温暖化対策をどう盛り込むのか？

農林水産部長　(1)①明らかな原因の特定ができない場合、今回のように市職員と地元漁業者が協力して対処せざるを得ないと思っている。

今回は、市職員と漁業者の方と共同で、漁業者の方にはボランティア的な気持ちでお手伝いをしていただいた。

災害復旧事業となると経費の3分の1は市が直接負担することになり、今回は人的な補助で作業をしたということである。

市長　②拠点施設として極めて重要と認識しており、関心を持っている。これは、大村湾流域全体の問題でもあり、関係機関とも連携して協議していきたい。「みどりのふれあい館」の利用については問題もあるが、ご提案は参考にさせていただきたい。

都市整備部長　③管理する県に尋ねたところ、港湾区域内の護岸は背後地を高潮、波浪等から守るための施設であり、現在まで十分にその機能を発揮しているので、新たに親水護岸として改修は大変厳しいとのことである。

市長　(2)毎年、環境審議会などへ概要を報告しており、市民へも概要を公表している。地球温暖化対策についても、関係団体と連携しながら、地域での積極的な取り組みを行えるよう計画していきたい。

森園公園前海岸線

新幹線とまちづくりについて 桜並木を造ろう

川添議員

(1)新幹線について

新幹線が動き出した。しかし肝心な事は何も明らかにされていない。次の点はどうなっているのか。また、いつ頃になるとはっきり示していただけるのか。

①「ひかり」も止まる駅になるのか、「こだま」だけの停車駅になるのか。

②1日に何本運行されるのか。

山陽新幹線「新下関駅」「新山口駅」「徳山駅」「新岩国駅」を視察してきたが、『新○○駅』と名前のつくところは、町の活性化には役立っていない。夢を見るのでなく現実を見つめた新幹線でありたい。現実的対応を望む。

(2)桜並木を蘇らせよう

桜は「大村のシンボルである」桜の名所「大村公園から大村駅まで」桜並木でつなげる事について12月議会では「いい提案なので是非実行したい」との答弁があっているが「中心市街地活性化基本計画案」に示されていない。今後の方針を聞く。

市長　(1)すでにある新幹線の駅をよく研究することは極めて重要なことであり、議会の皆様方からもアドバイスをいただきたい。